

「自ら学ぶ人」「豊かな心を持つ人」「すこやかに生きる人」

発行 足立区立入谷南中学校

発行日 令和6年4月11日



南中だより

4月号

HP



<http://www.adachi.ed.jp/adaimi-j/>

4月を迎えるにあたって ～今年は何を目標にしますか？～

校長 遠藤 映悟

4月は出会いの季節といえます。新しいクラスメートと、今年1年一緒に行事等に臨みます。そして新しい担任や教科の先生（中には変わらないと思う人がいるかもしれませんが）との出会い。その出会い一つ一つを大切にしたいと思えます。

ところで、入谷南中の学校教育目標は以下の通りです。

「自ら学ぶ人」

→「自ら積極的に学んで義務教育終了である、中学校卒業時の進路決定を乗り切り、生きる力である学力を向上させきちんと身につけていくこと」

「豊かな心を持つ人」

→「学力向上の下支えにもなる、他者を尊重しいじめや差別などをしない、豊かでたくましい心を育むこと」

「すこやかに生きる人」

→「小中連携や地域との連携を通して、健やかな心と体を育て生きること」

この三つを入谷南中卒業までに身につけてほしいと考えています。そのために様々な取り組み（教育活動）を行っていきます。

第一は学力向上・習得です。授業を中心とした毎日の学習を大切に、学力向上に精一杯取り組んでいきましょう。先生方は授業が楽しく、「できる・わかる」と実感できるよう工夫し授業を行います。授業はもちろんのこと朝読書や補充学習、各種コンテスト、そして家庭学習を十分に活用してわかったと納得するまで繰り返し学習することで学力が定着していきます。

第二はすべての学校生活において、先生方の指示通りにやるのではなく、自らが自分の意見や考えに基づき進んで参加して、一人一人が自分の得意分野で活躍し、結果を残せるようにしていく。そして、これらの活動を通して「入谷南中に入って良かった」「この仲間と一緒によく頑張れた」と思えるようにし、生徒同士、教員と生徒が互いの考えを十分尊重した上で、今何が大切で、何をしなければいけないのかを良く考え学校生活を送ることができれば、学校生活に満足でき、同時に他者を尊敬し思いやる心や、何事にも前向きに取り組む心が育ちます。

第三は小中連携や地域との連携活動を通してボランティア精神や地域への貢献を学びます。

このような活動をするには、わがままを言ったり、人任せにしたり、何かが起こったときに人のせいにしてはできません。「前向き思考（ポジティブ・シンキング）」を基本に、学校生活に全力で取り組み、その結果を残すようにしてほしいです。「自分にはできない」でなく「自分だからできる」のです。今までできなかった自分を変えるのは自分自身であることを忘れないこと。今までできなかった過去と決別して、新しい一歩を踏み出す。自分を律して正しい方向に力強く歩んでいこうという生徒の皆さんを入谷南中の先生方は必ず応援します。そして、あなたたちの活躍する姿を学校内だけでなく、広く地域や保護者の方々に知っていただきたいと思っています。

今年は何を目標にしますか。新しい出会いのあった新学期に、新たな気持ちで今年は〇〇を頑張ると各自で目標を立てましょう。もちろんそれぞれの学年では入谷南中での経験の差がありますから、それぞれの学年にふさわしい内容にできるとよいですね。そして、夏休み前にどこまでできたかを確認できるとよいですね。「自分だからできる素敵な目標」にしたいですね。ちなみに私の目標は「入谷南中を足立区で1番素敵な学校にする」です。

保護者・地域の皆様、様々な場面で今まで以上に生徒の活躍・成長・躍動する姿を通して本校の学校教育をご理解いただき、皆様方に信頼される学校経営を行う所存ですのでどうかよろしくお願いたします。もし不明の点があれば、学校におたずねください。